



活動レポート

歯科衛生士の役割は、 歯周病予防を通じて“体全体”を 健康に導くこと!



2012年8月1日。京都府宇治市にある、ほそだ内科クリニックにて——。
Goodbye Perioプロジェクトメンバーの田村幸絵さんが、
内科を受診する患者さん10名に歯周病予防の大切さを伝えました。

きっかけをつくったのは、院長で消化器内科医の細田正則先生。
「患者さんを診るなかで、“口腔の状態がいかに全身の健康に関係しているか”を実感し、
積極的に歯科受診を勧めてきました。
しかしそれではなかなか患者さんの意識向上にはつながらないと気づいたのです」
そこで、細田先生は“内科医院でフロス指導”というアイデアを思いつき、
Goodbye Perioに声をかけてくださいました。

こうして実現した、医科と歯科のコラボ企画。
健康を守る二人のプロフェッショナルから
フロスを使ったジンジバル・プラークコントロールを学んだ10～70代の患者さんは、
一体どんな反応だったのでしょうか!?



医科と歯科のコラボが実現!

細田 正則先生
ほそだ内科クリニック / 京都府

田村 幸絵さん
Goodbye Perioメンバー / 京都府

レポート・対談は次頁へ!



「エッ、2倍も!」
歯周病の人が脳卒中になる確率にビックリ



待合室のスクリーンに全身のイラストが映し出され、細田先生のお話からこの会がスタートしました。
「なぜ内科医院でお口の話をするんだらうと思われるかもしれませんが、お口の病気が全身の健康にも大きく関わっているんです」

歯周病の人と健康な人の医療費の違いを示すデータや、残存歯数と認知症の関連を示すデータ、口腔内の細菌数についてなど。次々に紹介されるスライドを見て、70代の女性は驚いた様子で口に手を当てます。

なかでも全員の表情に緊張が走ったのは、細田先生が、歯周病の人が病気になる確率を伝えたときでした。

「脳卒中や心筋梗塞は2倍、呼吸器疾患は2〜5倍。低体重児出産や切迫早産、糖尿病もかなり増えることがわかっています」

身近に思い当たる人がいたのか、一緒に参加したパートナーと顔を合わせ、小声で話す若い夫婦も。

急いでメモを走らせる姿がとても印象的でした。

テレビやCMでは、歯周病になると口のなかはどうなるのか、ということまでしか取り上げられていません。細田先生のお話により、歯周病は全身の健康にも関わっている、ということがしっかりと伝わりました。

「毎日やらなきゃ!」の気持ちを引き出したフロスの実習

が言うと、全員がなるほど大きくうなずいていました。

田村さんの指導のもと、自分の口腔内にフロスを通してみると、さらに手ごたえある反応が!

「つわ、すごいついでる……」「血が出たけどいいんですか?」「これは毎日やらなきゃ」など。縁下ブランクを目の当たりにして、誰もがフロスの効果を実感していました。

ある参加者は最後に、「歯だけじゃなくて体の健康のためにも歯周病を予防したいです!」と強い決意を語ってくれました。

……活動を終えて……



対談

細田 正則先生 × 田村 幸絵さん

細田: やはりお口については田村さんがプロ。ケアの意識を高めるのが上手ですね!

田村: 初めてで緊張しましたが、みなさん関心を持ってくれてうれしかったです。「お口のごとは歯科で体のことは医科」とバラバラになっているのが現状ですが、こうして連携していくのが大事だと改めて感じました。

細田: お互いに勉強し合って患者さんを診ていきたいですね。病気の背景に口腔状態があり、口腔状態の背景に体の病気がありますから。

田村: 今後も活動を続けていきますが、`全身の健康、という切り口からの提案には特に力を入れていきたいと思います。

細田: これからも協力します!



初めてのフロス体験! マスターしようと真剣に田村さんを見つめます。



Goodbye Perioプロジェクトが申請
4月4日は『歯周病予防』の日
日本記念日協会に認定されました!

Goodbye Perioメンバーはすでに1,151名*。
子どもが通う幼稚園や小学校で、地域の親子イベントで、知り合いの勤める企業で、多くのDHがこの日に向けて啓蒙活動を計画しています!

あなたも、歯科医院という
枠を超えて活躍しませんか?

*2012年10月9日現在

まずは下記のサイトから
Goodbye Perioメンバーに登録を!
提案用のフロスやツールを無償提供します

<http://perio.tuftclub.jp/>

メンバーの取り組みは、
facebook ファンページでもご紹介しています!

Goodbye Perio で検索を!